



島根県水産技術センター

令和8年9月8日発行

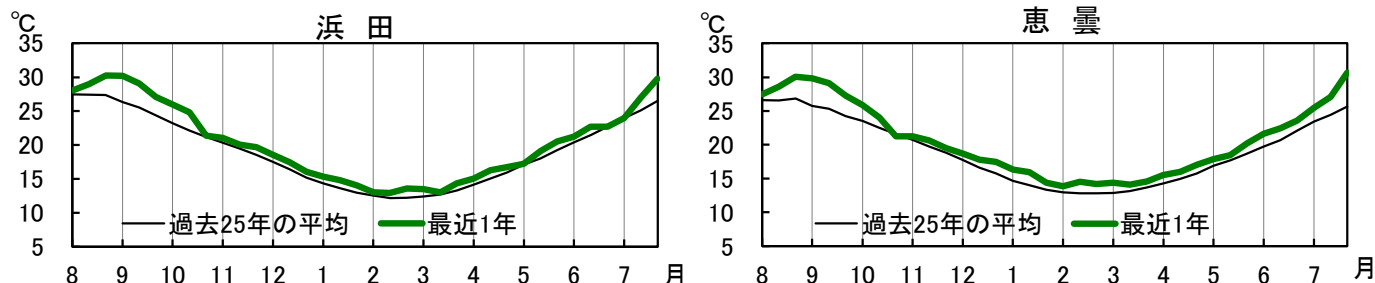
トビウオ通信 漁況速報 (8月号)

(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《7月の海況》



7月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	平年並み	27.0℃	+1.8℃	はなはだ高め	27.6℃	+3.0℃
中旬	かなり高め			はなはだ高め		
下旬	はなはだ高め			はなはだ高め		



《7月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類、マアジ主体の漁況でした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の2.1倍、前年の2.2倍、マアジは平年の1.0倍、前年の3.2倍でした。隠岐地区ではウルメイワシ、サバ類、マイワシ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は36.6トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ウルメイワシは1,499トンで平年の4割、前年の5割、サバ類は1,256トンで平年の1.1倍、前年の6割、マイワシは620トンで平年の5割、前年の4割でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ(全体の73%)、スルメイカ(同27%)が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は123kgで平年を上回りました。西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ(全体の95%)が主体で、1隻1航海当りの漁獲量は69.4kgで平年を下回りました。

【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は35.2トンで平年並み、1隻1航海当たりの漁獲量は1.3トンで平年並みでした。エッチュウバイの漁獲量は34.0トンで平年の1.1倍、銘柄別では「中」、「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の約83%を占めました。

【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業は、シイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは平年の1割未満、ヒラマサは平年の1.2倍でした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサバ類、ブリ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は23.9トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.5倍、ブリは平年の2.9倍、イサキは平年の1.0倍でした。石見地区ではイサキ、サバ類、ブリ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は11.1トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、イサキは平年の1.3倍、サバ類は平年の4割、ブリは平年の2.1倍でした。隠岐地区ではサバ類、ヒラマサ、イサキ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.0トンで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、サバ類は平年の1.2倍、ヒラマサは平年の1.9倍、イサキは平年の8割でした。

【釣り・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、アマダイ類、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は17.3kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の7割、アマダイ類は平年の1.5倍、キダイは平年の1.1倍でした。石見地区では、ケンサキイカ、アマダイ類、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は14.4kgで平年を下回りました。魚種別の漁獲量は、ケンサキイカは平年の6割、アマダイ類およびキダイは平年の1.0倍でした。隠岐地区ではスルメイカ、マダイ、ケンサキイカ、キントキダイ類、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は21.4kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量は、スルメイカは平年の1.0倍、マダイは平年の1.5倍、ケンサキイカは平年の8割、キントキダイ類は平年の9割、カサゴ・メバル類は平年の8割でした。

【令和 8 年 7 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海当り漁獲量)		
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %
中型まき網	浜田	サバ類、マアジ	—	—	—	—	—	—
	隠岐	ウルメイワシ、サバ類、マイワシ	3,730 トン	54%	57%	36.6 トン	74%	74%
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	6.4 トン	134%	110%	123kg	183%	139%
	西郷	スルメイカ	5.1 トン	72%	44%	69.4kg	62%	60%
ばいかご	石見	エッチュウバイ	35.2 トン	81%	101%	1.3 トン	87%	99%
シイラ漬け	石見	シイラ、ヒラマサ (*操業船が 1 隻のみのため公表不可)	—	—	—	—	—	—
定置網 (大型)	出雲	サバ類、ブリ、イサキ	310 トン	79%	109%	23.9 トン	79%	109%
	石見	イサキ、サバ類、ブリ	44.4 トン	40%	63%	11.1 トン	40%	63%
	隠岐	サバ類、ヒラマサ、イサキ	57.0 トン	57%	104%	19.0 トン	57%	104%
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、アマダイ類、キダイ	27.3 トン	100%	90%	17.3kg	102%	90%
	石見	ケンサキイカ、アマダイ類、キダイ	27.6 トン	97%	76%	14.4kg	92%	80%
	隠岐	スルメイカ、マダイ、ケンサキイカ、 キントキダイ類、カサゴ・メバル類	17.0 トン	129%	88%	21.4kg	100%	103%

※ 平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較

※ 大型定置網漁業の CPUE は 1 経営体当り漁獲量を示す。

※ 水温の評価「はなはだ〇〇」：約 20 年に 1 回の出現確率である±2℃程度の高さ
「かなり〇〇」：約 10 年に 1 回の出現確率である±1.5℃程度の高さ
「やや〇〇」：約 4 年に 1 回の出現確率である±1℃程度の高さ
「平年並み」：約 2 年に 1 回の出現確率である±0.5℃程度の高さ